



みなと

みなと 59号 2019年12月1日
兵庫県声の図書赤十字奉仕団
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-5
日本赤十字社兵庫県支部内
(Tel) 078-241-9889 (Fax) 078-241-6990
代表者 足利教治
編集者 神坂順子

2019年度 第30回交流会

2019年11月23日(土)



プログラム

- 12:00 開会挨拶 兵庫県声の図書赤十字奉仕団委員長 足利教治
来賓挨拶 日本赤十字社兵庫県支部奉仕課 永濱義也課長
来賓紹介 永濱義也課長 岡本 昇係長 宮浦胡実主事
青少年赤十字賛助奉仕団 中島健治委員長 中島秀子様
リスナー代表挨拶 田邊徳孝さん
リスナー紹介
- 12:20 昼食
- 13:10 コンサート 出演 沖縄三線ほっこりライブ&トーク
大江章吉さん 永濱義也さん
安里屋ゆんた 永良部百合の花
島人ぬ宝 花
ていんさぐぬ花 三線の花 &etc.
- 14:00 歓談 交流の時間
- 14:50 全員合唱 ♪今日の日はさようなら
閉会挨拶 交流会実行委員長 横山宜夫
- 15:00 閉会



2019年度 第30回 声の図書赤十字奉仕団 交流会を終えて…

交流会当日は、朝から雲一つない晴天に恵まれ、おもわず「ハブ a nice day!」と声をかけたい気持ちでした。

団員の団結の象徴としての、声奉の「団旗」が久し振りに掲示されました。

11月23日（土・祝）リスナー45名、同行者36名、来賓6名、団員64名、合計151名と盲導犬1頭の参加により第30回交流会を開催いたしました。

足利委員長による開会挨拶に続き、来賓の日赤兵庫支部奉仕課永濱課長より来賓ご挨拶を頂きました。来賓紹介では岡本係長、宮浦主事、青少年赤十字賛助奉仕団より中島健治委員長と中島様のご参加を頂きました。

また、リスナー代表としてご挨拶頂く予定の宇野修平様が、当日急なご都合により欠席となり、急遽代役を依頼することになりました。突然の依頼にもかかわらず、田邊徳孝様に快くお引き受け頂きました。

出席頂いたリスナー全員のお名前をご紹介した後、昼食に入りました。お弁当は、神戸阪急淡路屋の「秋の彩り弁当」で、碁盤のように区画された中に彩り鮮やかな弁当でした。



イベントは、大江章吉さんと支部奉仕課の永濱課長の沖縄三線ほっこり&トークで沖縄民謡の数々、永濱課長の出演は、先の総会でお披露目いただいた時、この交流会に出て頂けないかとの願いが叶いました。大江さんの本格的な沖縄民謡とお話しはユーモアたっぷりでした。アンコールに登場したリスナーの吉田さんの唄も素敵でした。

最後は、皆で体を動かし手を振り、手拍子で盛り上がりました。

歓談の時間は、同席を希望されたリスナーさん同士の間のお話の間に、我々団員との交流で日頃のご感想やご希望などが話されました。各テーブルには例年より多くの団員が配置されましたので、ここから得られた内容を、今後の活動に生かせるものと思います。

最後に「今日の日はさようなら」を全員で合唱し終了しました。

この後の各グループの反省会の中からご意見や改善案が出てくると思います。

各グループの担当準備作業の項目洗い出しと準備作業の流れの確認。まとめて今後につなげたいと思います。

終わりに、日赤支部には、永濱課長はじめ岡本係長、宮浦様には大変お世話になりました。

8月にスタートした実行委員会では、始めは顔も名前も知らなかった実行委員の皆様が、毎月顔を合わせ準備に取り組んで今日の交流会につながりました。

改めて、実行委員の皆様にお礼申し上げます。

そして本部役員の方々には、交流会準備中はもとより最後まで温かい目でご支援いただき、ありがとうございました。

実行委員長 横山宜夫

デイジー班



「受け入れ」

受け入れとはどのような作業をするのでしょうか？

先日、久しぶりに参加した私は、改めて確認する意味を込めて書いてみました。

簡単に言えば、デイジーになってからの CD 声のアルバム返却の作業のことを言います。

以前テープ受け入れをしていた時、青年グループ（旧あけぼの）の孝橋さん、小川さんが中心になって行っていました。現在は2グループで、お二人とはあもにいのメンバーが作業をしています。

① 基本は毎月 2 回 一回目は第一月曜日、二回目は第3月曜日。

これらの作業は「声のアルバム」のチェックに限られています。時間は2グループが揃ってから10時に始めます。

② 次に手順ですが、一番奥のテーブルを陣取って、かごから出した郵袋を広げ、輪ゴム、赤ボールペン、など事務用品と宛名カードのケースをロッカーから出して作業の開始、まずその日の総数をチェックします。郵袋から出した CD と宛名カードを組み合わせア行から分別して、順序良く重ねていきます。この時、点字のお手紙があれば一緒にして輪ゴムで止めておく。また、単行図書の返却があれば、袋に入れたままにして、分けて別にしておく。

メモ用紙に何がいくつか個数を列記しておくのも大切ですね。

後で数合わせをして間違いがないかを確認めます。

③ 2グループの息を合わせて、些細なこともベテランの孝橋さん、小川さんに聞きながら進めていくのが賢明です。単純な質問にも、また同じことを何度聞いても、笑顔で優しく答えてくれます。時にはおばちゃんギャグも入り、和気藹々のうちに進められる単純明快な、大切な作業です。

デイジー制作では担当グループ内で完結している昨今、他グループとの共同作業、またリスナーさんとのつながりを強く感じられる受け入れのお仕事は、私にとって貴重な体験となりました。

孝橋さん！これからは「かけはしさん！」と呼ばせていただきますね。

羽島敦子 はあもにい



点字班

こんにちは、お世話になっています。10月～12月は学校講習があり、一同気を引き締めつつ楽しく取り組んでいます。今年は小学4年生が3校そして中学生が1校です。4年生は障害のある人の様々な事を学びます。その国語の教科書に掲載している大島健甫著の「手と心で読む」の一部を紹介いたします。

19歳の時、私は急に目を悪くして入院しました。もう回復は望めないと分かってからもしばらくの間、私は点字を覚える気にはなりません。まだ、新聞の大きな見出しぐらいは、読んでいましたし、太い鉛筆で文字を書く練習もしていました。それまで親しんでいた文字と離れる事は、まるで心のふるさとを失うように思えたのです。

そんな私に、点字を覚えるように働きかけたのは、母でした。母はいつの間にか点字を習いに通っていたようです。1944年の冬のある日、病室にやって来た母は、少し厚めの紙を私に手渡して言いました。「一緒に勉強してみようよ。」母が自分の手で打ってきた北原白秋の詩を、私は忘れることが出来ません。

からまつの林をすぎて、
からまつをしみじみと見き。

点字を指先で読み取るのは、初めのうちはなかなか難しい事ですが、かじかむ指を温め温め、私は何日もかかって、ようやく一遍の詩を読んだのでした。

勉強し始めてみると、自分で自由に使える文字をもつことが、どんなに楽しく、どんなに大切であるかが分かってきました。読む速さも、練習とともにどんどん増して、点字の図書館から次々に本を借りて読みました。そのうちには、読みたい本がまだ点字になっていないのが、もどかしく感じられるほどになったのでした。

知識や考え、思いを伝え合うことができるのは、文字のもつ大きな恵です。

おおしまけんすけ
大島健甫 (1923～2013)

岡山県生まれ。作家。視覚障害者のテープ雑誌制作。

点字班の活動日は毎月第2
火曜日の10時～15時です
見学に来られませんか。お持
ちしています

門田真弓美 ことばの花束

朗読・音訳を見直す会

見直す会に出席して、もうすぐ2年。毎回、白熱の議論がなされ、私自身、勉強になっています。(役得です!)

真摯な話し合いがふと途切れた時、「昨日のニュースで、アナウンサーの言葉遣いがヘンやった」「こんな言い回しが流行っていて、不快」というような話題になる事があります。同感やわ・・・と密かにほっとするワケですが、そんな、ちょっとむむっとする言葉や言い回しについて、今号よりコラムで紹介していきますね。

◇ ◇ ◇

さて、ある回で、小石先生がAERAの記事を持ってきてくださいました。

<若者を中心に平板化する日本語アクセントの謎>というもので、その理由が興味深い!

《省エネ効果》— 腹筋への負担が少なく、アクセントを覚える手間が省ける。

また、都会でアクセントが分からなくても、とりあえず、平板型ならごまかせるという、地方出身者の《生活の知恵》— 失敗したくない、周りと同様でいたい。

それとは逆に、専門用語や業界用語を平板化する事で、特別感を得たいケース。つまり、《カッコいい》?!

・・・などなど。

言葉というものは、人の思惑と深い関わりがあり、言葉は生きているのだと改めて思いました。

見直す会だより

「ことばの探偵局」



※二重敬語※

「おっしゃられました」→× 「おっしゃいました」→○

※「代替」の読み方※

「ダイタイ」→○ ex. 代替バス (ダイタイバス) 代替物 (ダイタイブツ)

◆「ダイガエ」と読む場合は、「代替え」のように送り仮名「え」が必要。

※「開ける」の読み方※

「本をヒラケル」→× 「本をアケル」→○

◆“意味”で読む・・・狭い状態から広い状態になる、良いほうへ向かう、等は「ヒラケル」

ex. 景色が開ける (ヒラケル) ○ 解決の道が開ける (ヒラケル) ○

※アクセント※

「家計」「家系」「火刑」→すべて平板アクセント○

「指導」「始動」「市道」「私道」→すべて平板アクセント○

中村祐子 そよかぜ

単行図書検討会

～ 一冊の単行本が一枚の CD となってリスナーに届くまで ～

単行図書検討会の月例会は、いつも賑やかです。

机上には、リスナーからの録音希望図書名が書かれた用紙、新刊本紹介の新聞切り抜きが所狭しと・・・そして論議が一段落して「単行通信」今月号が単図会メンバーの手元に。わいわいホットな話合いの中、片隅にはクールダウンの茶菓子も。今年 6 月に発行された録音図書製作マニュアル第 3 版は傍らで出番待ちです。



いつも単行図書製作にご協力いただき、ありがとうございます。

例会ではリスナーリクエスト本（状況によりプライベート本）のほかに、単図会推薦本を選び、団員の自薦本を録音してもらいどうか検討し、録音者の募集をしております。なかなか読み手が見つからない場合は、2ヶ月、3ヶ月と同じ本が「単行通信」に掲載されますが、諦めて別の本を選定することもあります。「読み手募集！」に手を挙げてくださると単図会メンバー一同ホッと胸をなで下ろします。何より録音者欄が早く決まることが最優先課題となります。団員の皆さまには、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

デイジー単行図書がリスナーに届くまでの旅は、一冊の単行本を入手し音訳することから始まります。音訳された録音図書は一次、二次の校正を受け、最後に編集の最終チェックであるデイジー校正を受けます。プライベート本については、自己校正をお願いしております。音訳の期限はとくには設けておりませんが、リクエスト本はリスナーがお待ちですので、できるだけ早く仕上げてくださいれば有難いです。

音訳・校正を完了した録音図書は、次に登録と CD 作成作業の手を経ます。単行図書登録台帳で登録番号をとり、録音台帳、単行図書仕様書に必要事項を記入し、PC 内の単行図書目録総合台帳にも同様に入力します。次に、専用 PC 内に録音図書データを取込み・保存。音声エキスポートで圧縮したデータを CD（マザー用と貸出用）に書込み、プレストークで確認し、CD 焼付作業が完成します。最後に、タイトル・著者・時間等レーベル印刷のお化粧をして完了となります。ここからは単行図書の発受作業担当 ことばの花束 G の手へ。毎回、点字ラベルの作成ほか手順を踏んで準備し、希望リスナーに貸し出しをしております。

一冊の本が音訳・校正・編集を経て声奉の蔵書として登録され、一枚の CD（デイジー図書）となり、発送の最終作業によってリスナーに届けられます。多くの手に感謝しながら、これからも皆さまのご協力を頼りに、蔵書充実に励んでまいります。



八木はるみ こすもす

ゆうゆう会

ゆうゆう会発足について

「声の図書奉仕団」は、1963年6月1日にテープライブラリーとして創立以来56年の年月を重ねてきました。

草創当初の先輩諸氏のご苦勞があつて活動は順調に進展してきました。

近年、機器はアナログからデジタルへ移行し、社会の動きに合わせてながらリスナーの方々と歩みを共にしてきました。

高齢化社会にあつて、創立当初からのメンバーが今も現役で活動を続けて下さっていることは大変心強いことです。しかし、残念ながら「あかりの会」が高齢化を理由に昨年度末で解散してしまいました。

健康寿命が延びたとはいえ、古参のメンバーは年と共に体力は衰えます。高齢の団員の中には若い時と同じペースで活動出来ず、若い方々への気兼ねから退団を決める人もあります。現状では若い方の入団が多数あるとは言えず、団員の減少が懸念されます。

そこで、団員の誰もが生涯現役を続けられるよう、そして団員減少を食い止めるため名付けて「ゆうゆう会」の発足となりました。

「ゆうゆう」は優しさのゆう、友人のゆう、悠々のゆう、等様々な願いを込めました。年齢のせいだけでなく、何かの事情で退団しようと思った時、ちょっと立ち止まって、ご自分の声奉での歩みを思い起こしてみてください。それまでの活動の中で「この部分だけなら手伝える。」と思えることがある筈です。

そんな時「ゆうゆう会」に所属し、声奉の団員として、緩やかな活動を続けて下さるようお願いします。

ゆうゆう会の活動が定着することを願う一方で、団員募集について各グループ毎に考えるだけでなく、声奉全体として積極的に取り組む必要があるかと思えます。

意義ある声奉の活動に参加してもらえよう、皆で知恵を出し合つてよい手立てを考えましょう。

尚、「ゆうゆう会」の具体的活動内容等は10月6日（日）の運営委員会で各グループの運営委員に提示してありますのでご覧下さい。

悠 友 優 結 遊

田邊依子 ともしびG

グループ紹介 「ともしびグループ」

ともしびグループは昭和 43 年 1968 年灘、神戸生協を母体とするボランティアグループのひとつとして誕生しました。同年、日赤テープライブラリーにも所属。以来ずっと声奉で活動を続けてきたグループです。

現在は団員 10 名。各グループ分担の『花時計』のほか、昭和 59 年 10 月より季刊『旅』を制作しています。『旅』ではメンバーや友達、外部の方が訪れた国内外の場所のその空気を感じていただけるように紀行文やインタビューを録音しています。

また、毎月第 3 木曜日に西宮北口のプレラ西宮で勉強会を行っています。

講師は関西の女性アナウンサーの草分け、佐伯かをる先生。

メンバーみんなが憧れる素敵な先生には、いつも一人ひとりに合ったご指導をいただいています。

そして『旅』の題材を探しにみんなで出かけたりもします。

山に登ったり車で滝を見に行ったり、電車に乗って少し遠くまで……。

楽しい大人の遠足です。

ともしびグループが大切にしていることは無理をしないことです。

自分ができることを役割とし、これからも楽しみながら息の長い活動を続けていきたいと思っています。

三中徳子 ともしびG





リスナーだより

牧野まりえさん

毎月の声のアルバムを楽しみにしています。どの記事も関心を持ちます。中でも「水道水…」という記事。私も以前からペットボトルより水道水推奨派なので、もっともっと多くの人に水道水を飲んでと言いたいです。

また、かざぐるまの中では介護のいろはや、晩ご飯のヒントなど、情報や話題を届けてくださり感謝します。

香山良樹さん

雪では、被災者のために炊き出しをされた皆様の温かいお心の忍耐には頭がさがります。

あじさいは良い雑誌です。これからもいろんな情報をお願いします。

声のアルバム、いろいろ教えられることがたくさんありますね。

交流会、楽しみにしています。

岸田洋子さん

毎月 いろいろなためになる話題を 美しいあたたかい心のこもったお声で送っていただけて楽しく聴いています。78歳になり、勘違いやうっかりごとなど…

こんな自分をおもしろがっています。

今後ともよろしく願いいたします。

平本信義さん

単行図書のおたよりから
読書としては、非常に便利です。

原田喜種さん

上橋菜穂子 守り人シリーズ本当に楽しくワクワクして聞かせていただきました。うれしい時間を過ごさせていただきありがとうございます。

中原真理子さん

PHP…東北レポートと流行り歌はよく聞いていますし、思いやりの心も良いことを言っているなといつも感心させられます。特別企画が楽しみなのですが、来月も期待して待っています。

つちのこ秋号…ゆきあかり藤沢周平作ですが、時代小説のようで、しかも寒い冬の話だなど思いました。BGMも初めて聞きました。

一遍の話もいいなと思いました。二編や三編もいいですが、長く続いてくださるようよろしくお願いいたします。

枯葉も落ち寒い冬がやってきますが、くれぐれもお身体ご自愛くださいませ。

デイジー受入&点字班の皆さま

リスナーからのおたよりを…大切に♪
ありがとうございます。

紙面の都合で、花時計等で紹介されているものは省いています。

おたよりの全文をご紹介できなくて
申し訳ありません。

点訳されたお手紙は、海側のホワイトボードに展示しています。

ぜひご覧ください。

メーリングリスト開設

11月 リスナーと団員の親睦を目的に…メーリングリストが開設されました。
交流会を経て…送られてきたメールをご紹介します。

・匿名 交流会に参加できまして感謝です。いろいろなばめんで奉仕のかたの心いっぱいの私たちへのさぼとに改めてお礼申し上げます。気候も最高でした。道案内に立たれたみなさま、ほんとうにありがとうございました。司会者も申し分なく、サンシンはことさらにすばらしかったです。お弁当？おいしかったです。ほんとうにありがとうございました。じゅんびもたいへんでしたことでしょ。ありがとうございました。

皆さん。こんにちは。伊丹の高瀬です。きょうの交流会、ありがとうございました。
今回で30回、これまで続けてこられた関係者の方々に感謝しますと共に、今回の関係者の方々、ありがとうございました。今回、盛り上がりましたね。
何といても、日赤の課長さんが出演されるとは、思いもしませんでした。加えて、これがまたお上手ときている。そして、今までは、聞かせてもらって楽しんでいるという感じでしたが、今回は、会場の皆さんと一緒に参加して楽しませてもらいました。
スタッフ、団員、ボランティアの方々、お世話いただきまして、ありがとうございました。
お礼もうしあげます。これからも、宜しくお願いします。

日赤のスタッフの皆様 足利さんへ こんにちは 灘区の 佐藤 百合子です。
交流会に参加させていただきまして本当に楽しくすごさせていただきまして ありがとうございます。
皆様のお顔こそ見えませんが気きずかいが感じ取れ 感じ取れ元気になりました。
さんしんの音色皆さんの歌声 私の心を熱くしてくれました。
来年の交流会を楽しみに月々あじさいのアルバムの送信を待ちながら日々過ごして まいります。
本当にありがとうございます。お礼いまで

みなさま、はじめまして。
きのう、こうりゅうかいに、さんかさせていただきまして、かわかみゆうこです。
こんかい、はつさんかで、おきなわのがつき、さんしんを、さわらせていただいたり、たいこをたたかせていただいたり、わたしが、たんじょうびということで、「ハピバスター」ひいていただき、とても、うれしく、かんどうしました。また、らいねんも、さんかさせていただけたらと、おもっています。
これからも、よろしくおねがいします。メールの、てつずきを、してくださった、あしかがさん、きのう、おせわくださった、かかりのみなさま、ほんとうに、ありがとうございました。

昨日、交流会に参加の小玉です。昨日は、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。また来年、皆さんに逢えるのを、楽しみにしています。

こんにちは 兵庫区の守口 唯津子（もりぐちいつこ）です。23日は、和やか且つ楽しい会に参加させて頂き義母共々とても嬉しく思っております。数か月前から準備等でとても大変だったのではとお察し致します。スタッフ・団員の皆様のご尽力に感謝致します。又お隣に同席された団員の方のお気遣いで随分おしゃべりし易いようにして頂きました。本当に有難うございました。宜しくお伝え下さい。

花時計 プログラム

花時計 7月号 こすもす

1. やなせたかしからのメッセージ
2. 「日本とオリンピック」
3. いつも心に樹木希林より…
4. NHK気になる言葉より…近畿と関西
5. 吉沢久子「十分生きましたので明るく」
6. ラグビーワールドカップ2019 & スタジアムとパンと駄菓子と
7. おたよりコーナー

花時計 8月号 神戸YWCA

1. ラグビーワールドカップを楽しもう
2. ラジオ放送の魅力
3. 京都ものがたりの道
「夏 新町通」「盆 お地藏さまの道」
4. 超・簡単夏のレシピ
5. リスナーさんからのご便り

花時計 9月号 ことばの花束

1. 月を買う
2. 人の寿命はどこまで伸びる？
3. 樹木希林さんの人と言葉
4. 世界の旅の思い出
5. ラジオはともだち
6. お知らせ

花時計 10月号 はあもにい

1. ワクワドキドキどんな人に会えるかな
京都民泊 加藤秀佳さん
2. お料理 京のおばんざい二品
3. 初めてのロンドン アート展に参加して
4. Marcy のミュージックカフェ
秋のジャズライブ
5. 交流会のお知らせ

花時計 11月号 ともしび

1. 柿本人麻呂ー古代の船旅
2. 鹿のいまむかし
3. 今よみがえる森鷗外
4. 田辺聖子～食べるたのしみ～
5. 秋味をたずねて 飛騨高山の品漬け
6. お皿の最後の一つ何と呼ぶ
7. お便りのご紹介

